授業科目名 <英訳>	二十世紀学(演習II) Twentieth Century Studies (Seminars)	担当者所属・職名・氏名	人文科学研究所 助教　　小野　容照

配当学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・開講期	2015・前期	曜時限	水3	授業形態	演習	使用言語	日本語

題目	朝鮮のサッカーに関する文献講読

[授業の概要・目的]

現代朝鮮語で書かれた文献をテキストとして講読し、テキストに登場する人物・事件・事柄などについて調査する。この作業を通して、朝鮮語の読解能力を高めるとともに、関連事項を調査するための方法（とくに韓国側のインターネット情報へのアクセス）を習得することを目指す。

[到達目標]

1) 朝鮮語の読解能力を高める 2) 朝鮮の言語や歴史に関する韓国のインターネット・リソースを活用できるようにする　3) 朝鮮の歴史に関する理解を深める

[授業計画と内容]

日本の植民地時代（1910～1945年）の朝鮮のサッカーの歴史を扱った韓国体育史編纂室編『国技蹴球―その燦爛たる朝』（ソウル新聞出版事業部、1997年、原文朝鮮語）をテキストとする予定である。植民地時代の朝鮮人は、日本人としてオリンピックに出場しなければならず、1936年のベルリンオリンピックのサッカー日本代表には朝鮮人選手も含まれていた。同書の精読を通して、朝鮮語の読解能力の向上のみならず、植民地支配とスポーツの関係についても理解を深められるようにしたい。授業は、受講者による音読・日本語訳と授業担当者による解説を中心に進め、日本語訳の担当者は事前に指定する予定である。

[履修要件]

予定しているテキストは現代朝鮮語で書かれているため比較的平易だが、初級程度の朝鮮語を習得していることが望ましい。

[成績評価の方法・観点及び達成度]

期末試験は行わず、平常点を重視する。

[教科書]

授業で使用するテキストは、担当教員が準備して配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学習（予習・復習）等]

受講者数にもよるが、毎回2-3頁程度読み進める予定である。日本語訳を指定されていない人も、該当するページの予習をしてくることが望ましい。

（その他（オフィスアワー等））

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。